

部落公民館さんの研修会

昭和三十七年度初の部落公民館長研修会は六月九日午後一時から役場会議室で開かれました。午前中衛生組合総会に引きつづいての研修会であったが誠に真摯に行なわれ、最後まで座席の崩れなかつたことはさすがに部落の指導者だなぁと思われました。

既に農繁期に入りますが悪天候のためにも出席率は八〇％を示したことは止むを得ないことにも思われました。

当日の日程と内容の概要をお知らせして、参考に資したいと思ひます。

一、町長あいさつ
(一〇〇一・一〇〇二)

△座長 小原田照雄氏(上置)

与えられた問題についていろいろ意見が出たが、要するに第一部落民の協力体制と研究意欲を高めることが大事である。それには、先ず部落の集会和時間励行を徹底的に実行することである。そしてお互いに研究し、話し合つて行くことが大切である。そこで「集會」

二、問題提起 町公民館長
(一〇〇一・一〇〇二・一〇〇三)

▲研究問題「変貌する農村において部落公民館活動はどうあるべきか」の問題について

部落公民館活動は先ず部落の実態の上に立ち、町行政の方針、時代の進展に伴つて打ち立てなければならぬ。そこで変貌する農村の種々の問題について考察されて、この問題の研究の重要なことが提起された。

四、問題研究 全体会
(一〇〇一・一〇〇二・一〇〇三)

△座長 小原田照雄氏(上置)

与えられた問題についていろいろ意見が出たが、要するに第一部落民の協力体制と研究意欲を高めることが大事である。それには、先ず部落の集会和時間励行を徹底的に実行することである。そしてお互いに研究し、話し合つて行くことが大切である。そこで「集會」

(熱心な部落公民館長さん)

町文化財保護条例が制定

逆瀬川三男

国および県の文化財が、それぞれ国民的な財産、県民の財産であることは皆さんよくご存じのことです。ところが地方にも地方のある財産いわゆる有形無形の文化財がたくさんあると思ひます。

そこで町にも今年度から始まる町文化財保護条例が制定されて五人の文化財保護委員が委嘱されました。

この条例の制定された目的は、町内のごとくご存じの通り、皆さんの家の天井裏にほこりをかぶり又は各所に滅失、損傷寸前にある文化財を保護し、歴史、文化の正しい理解と将来の文化発展に資したいというわけですね。

この条例の制定は遅すぎた感がありますが、町議会の議決を得て誕生したことは、町民の皆さんとともに大変喜ばしいことであります。

文化財の「財」は金もうけにな

そこです。その文化財とはどんなものかと申しますと、その中には建造物、絵画、彫刻、工芸品、書画、古文書のような有形文化財と、演劇、音楽、工芸技術のような「無形文化財」衣食住、年中行事、風俗習慣に関する物件、即ち「民族資料」さらに貝塚、古墳、城跡、旧宅、庭園、橋、動物の生息地、植物の自生地など広く含めた「記念物」等があります。

ところがこれ等文化財の対象の多くは皆さんの家に大切に保存されている物だけでなく山野に自生する植物であったり、野ざらしにされた石垣、石仏であったりするので、皆さんの理解と協力がなければ、その保存活用はむづかしいのであります。文化水準の高低は文化財などに対する住民の認識の度合によつてわかるといつてい

者等の出席が悪いようだ。(3)集会には婦人の出席が多くて、男子成人の出席が少ないことである。

このようなことはどの部落でも深く反省すべきことであると思ひます。進展してゆく農村の現状を見つめ部落の課題を把握して、部落民の共同的研究をなすことは今日ほど大事な時はないのではなからうか。

殊に組織的な研究の場のない男子成人の方には進んで集会に出席して、研究と話し合いの場を作らなければならない。最もむづかしいことと思ひます。役員のみに苦勞を委ねないで、お互いが進んで集会にきちんと出席し、部落の親和と発展のために協力される体制を作ることが望ましいと全部の公民館長の声であつたようです。「部落振興は先ず集会の徹底から」の標語をお互いに守りましょう。

五、講話(二・三〇一四・〇〇) 講師 県農政課参事井上泰蔵先生

先生は農政については、深い研究と深い経験をもつておいでになるので、農業構造の改善と部落公民館長の在り方など平易の中に有益なお話がなされた。(内容省略)

この会の模様は、町長の挨拶から終始テープレコーダーに吹きこんでありますので殊に井上先生のお話などは、部落集会やその他の会合等でのテープを充分ご利用されるようおすすしめします。

以上部落公民館長研修会が熱心になされたこと、後援した部落の協力体制を作り皆さま方が活躍されるよう祈ります。

始良町史蹟めぐり

木津志小 松 永 守 道

天福寺(1)

きょうは鍋倉の天福寺あとをたずねてみましょう。

ごらん下さい。岩壁一面、数多くの仏像が彫り出されていますが惜しいことに殆んど顔は風化の為くずれてたゞその形がおぼろにわかる程度です。向つて左の方、穴の中には穴薬師がまつられていたのですが、明治元年四月に行われた魔仏忌の為、りっぱな仏像も天福寺の建物も、門前の仁王像も全部こわされて、今はただ、岩壁の仏像と墓碑、上半身のみ仁王像だけが残されています。

天福寺の創建

この天福寺がいつ頃建てられたのかといふことは色々説がありますが、今のところ、これといふきめ手がなく考えられています。今その各説を簡単に書いてみます。

(1)三国名勝図会の説

蓬萊山天福寺は地頭館から寅の方六町にあり、福昌寺の末寺で曹洞宗。本尊は阿彌陀如来で、開山は福昌寺十八世代賢和尚。当寺は勢州桑名城主松平定行夫人の創建なり。初め松齡公御女子虚窓翁主像だけが残されています。

父伊集院忠真を弔う為に創建したものであるといふことになりす。

(2)帖佐由來記の説

これは寛政六年十一月二十八日(一七九四)天福寺領内の穴薬師集院源次郎忠真との間に生まれた娘「千鶴姫」が、元和三年(一六八七)松平隠岐守定行に嫁入り、後、父忠真の菩提を弔う為、母「おした」さまと一しよに天福寺を再興し、その主旨を書いた書物も納めたことがうかがわれます。

寺の住持には、義弘について栗野から帖佐に移住してきていた一翁真勝和尚を頼んだ所、一翁和尚は開山となることを遠慮して、自

分の師である福昌寺十八世の代賢和尚を開山とし、自分は二世となつたものようでありす。

伊集院氏は島津家の一族で、都城の領主でありましたが、島津氏に叛き、父の幸辰は慶長四年、島津家久に殺され、子の忠真は慶長五年降伏し、二万石を与えられて帖佐の正ヶ橋に住むことになりました。

しかしその間、義弘の住む宇都の御館に備え、中間の岩山を一夜にして切開き、岩瀬戸を通したりしましたので、慶長七年八月十七日家久の為に遂に日向の野尻で殺されました。家久としても、妹の主人を殺すことですから心苦しかつたに違ひありませんが、島津宗家を守るためには心を鬼にして行動したことでしょう。

忠真の遺骸は天福寺に送つて葬ることになりましたが、そのむざむざな姿を「おした」さまに見せたくなかつたのでしよう。加治木の木田、実徳寺附近の杉森門の屋敷に葬りました。この「天福寺に葬る」ということから、天福寺は元和の頃、千鶴姫の創建ではなくそれ以前からあつた寺だつたことがうかがえます。

「おした」さまは時に十九才泣く泣く以後は父や兄の意志で島津下野守久元に再嫁しました。(次号へ)

農薬から子供を守ろう

夏が近づき田畑に害虫や病害があらわれます。田畑に赤旗の標識が見られるところは農家も忙しくなつて、つい農薬の管理や保管の注意をおこたることが多く、こんな時に小さな子ども達や、思春期の子ども達に農薬による悲劇がおります。

夏が近づき田畑に害虫や病害があらわれます。田畑に赤旗の標識が見られるところは農家も忙しくなつて、つい農薬の管理や保管の注意をおこたることが多く、こんな時に小さな子ども達や、思春期の子ども達に農薬による悲劇がおります。

農薬がからだに及ぼす害は、①ホルドールのような透過性のある農薬は、皮膚から体内に入り神経系統をおかします。②その他の農薬は、口、傷口から入ります。

一、農薬がからだに及ぼす害は、①ホルドールのような透過性のある農薬は、皮膚から体内に入り神経系統をおかします。②その他の農薬は、口、傷口から入ります。

二、農薬がからだに及ぼす害は、①ホルドールのような透過性のある農薬は、皮膚から体内に入り神経系統をおかします。②その他の農薬は、口、傷口から入ります。

三、農薬がからだに及ぼす害は、①ホルドールのような透過性のある農薬は、皮膚から体内に入り神経系統をおかします。②その他の農薬は、口、傷口から入ります。

四、家庭での農薬保管について

◇絶対子ども達の前には農薬をおろさないこと

◇小さい子ども達には農薬のおそろしさを充分教えておく

◇中学、高校生のいる家庭では特に注意しないこと、ひよつとしたことから農薬目殺をした例も多い

五、子ども達への注意

◇農薬の知識をよく知りお互いに注意すること

◇農薬のまかれた田畑に近づくな

山田保育園に 御下賜金

二年連続の栄誉

山田保育園は、このほど保育事業の実績が優秀なため賞状とご下賜金一封をいただきました。これで昨年と連続二回にわたり表彰されたわけですね。

これも園長をはじめ職員みなさんのご協力の賜と考えられます。みなさんと共にお慶び申し上げます。(福祉課)

7月15日

伸びゆく図書館

「エヘン」と図書室の方から咳払いの音が聞こえる。誰か来ているかな？それは8おじさんの新聞を読まれている朝のつとめであった。四部の新聞を隅から隅まで読まれている。午前中は図書室ごもりである。

「図書室を貸して下さい」と三人の高校生がくる。それは教科書を持ちこんで国語辞典その他の参考書を持ち出して終日勉学に励んでいることもある。

「勉強ができるネ」とたずねると「家よりよっぽどこちらが勉強ができます。静かでそれに参考書等はあるしここがいいよ。」等という。何でも試験らしい。

近頃人数もだんだん増してくるようです。中学生のグループもよくみえるようです。

この前はモンペ姿の婦人がみえられた。

「本を貸してください」「どうぞよい本を選んでください」といって話してみると「今日は表列をする筈でしたが雨が降りましたのでやめました。たゞ今主人は馬をひいて田すきに行ったのでその暇にかけてきました」とのこと、T部落の方でしが取急いで本棚から二三冊選んでついでに子どもの参考書までと持って帰られた。

豚の病氣と予防法

豚の値段が下るのはいまにはじめるばかりでなく、カルシウムの化骨に大いに影響します。そこで日光が不足すると骨軟症になったり、繁殖豚が腰がたたなったりすることがあります。

最近豚の値下により、飼育熱が下がり管理不十分のため、各種伝染病などの大発生も予想されるので、その予防に特に注意すべき疾患について、のべて参考にしていただきます。

1、日光
多頭数の豚が集合して飼育されている豚舎では、とくに採光の配慮が欠けていることが少なくあります。日光は冬季の暖かさを与えては運動が必要で、日光不足は皮膚病、とくに湿疹や肺炎などの呼吸器病の予防のためにも、ふん尿に汚れた糞尿を出来るだけ取り除くことが必要であります。

2、水と運動
豚は発汗しにくい動物です。清潔な水を好む動物です。豚舎の面積が狭い場合であっても、運動場をつくり、できれば水浴の設備が望ましいです。とくに幼豚から中期にかけては運動が必要で、日光不足は皮膚病、とくに湿疹や肺炎などの呼吸器病の予防のためにも、ふん尿に汚れた糞尿を出来るだけ取り除くことが必要であります。

3、豚舎の乾燥
皮膚病、とくに湿疹や肺炎などの呼吸器病の予防のためにも、ふん尿に汚れた糞尿を出来るだけ取り除くことが必要であります。

4、ハエ、カ、アブなどの防除
ハエや吸血昆虫は子豚の発育に影響するばかりでなく、日本脳炎ウイルスの媒介となる。死産産（とくに秋分娩予定のもの）の予防上たいせつなことです。

重富海水浴場開き

今年も七月十五日から八月三十一日まで重富海水浴場を開場します。この海水浴場には町の助成と漁業協同組合から経費をだしてもらい、毎年目の養殖をして皆さんに大へん喜ばれています。ところが最近漁獲のため非常に少く種貝もいなくなりつつあります。

このように今年から貝堀の無料サービスはできなくなり、ある程度漁協において貝堀料金をいただくことになりました。協力くださいますようお願いいたします。

海水浴場開設期間中は皆さんが楽しく遊泳していただくため、防犯および水難事故防止には特に気を配り健全な娯楽センターとしていただきたいと思っております。みなさん方のご協力をお願いします。



(にぎわう重富海水浴場)

一、伝染病の予防対策
多くの伝染病は、口腔から感染する。病原体がふん尿から排泄されて消化器から感染する場合もよく、その抵抗力がよいものでも煮沸すれば死滅します。

草地改良事業を実施

優良牧草を導入しまして、野草を改良し、家畜生産費の大半（五〇〜七〇％）を占める飼料費の節減をはかり、農家所得の向上を図るにこの事業を次のとおり実施します。

播種希望地区が有りまして、七月十五日まで役場畜産課宛申込んでください。

一、対象地区 畦畔概ね一町歩

二、本年度一〇地区実施の予定

三、播種期 九月上旬

四、補助額 半額補助（一地区二五〇〇円、従って半額は地元負担）

五、播種の方法 役場、農協、改良普及所技術員指導のもとに一斉に播種します。

「布引」俳句会

始良町に唯一の月刊文芸雑誌「布引」が生まれました。この文芸誌は同人会の寄稿で編集されていますが、第二回俳句同人会を五月十二日山部深見竹風居で開催いたしました。

兼題「蛙」及び雑詠

発破音あげ夏山の採石場
捨て鐘は間を早め打つ初蛙
終車まつ駅に星夜の遠蛙
ものも書く夫といる夜の遠蛙
小山田の宵の暗さよ蛙鳴く
五月雨や硝子戸に映る雨蛙
曇るときに天子のごとく足踏まふ

「布引」俳句会では毎月吟行、句会を催していますが町内同好者の参加を望みます。

申込先 重富局区内山部「布引」会
投稿の切り 毎月末日「短歌、俳句、詩」
会費 毎月三拾円

亡くなった人

六月 中

口山花	中村 栄蔵
並木東	富田チヨケサ
星ヶ山	小倉 慎二
東原西	春日敏次郎
油屋	森 龍蔵
黒島野	黒島野 薫
春花上	岩元 岩助
山 花	比知屋次右門
宇 都	羽島 静哉